

未定稿

日南町・協会けんぽ鳥取支部
日南町の健康づくり事業に関する
包括連携協定資料

平成27年2月5日現在

お問合せ先

〒680-8560 鳥取市扇町58 ナカヤビル
全国健康保険協会鳥取支部 企画総務グループ
Tel/0857-25-0051 Fax/0857-25-0060

趣旨

- 増大する医療費を背景とした平成18年度の医療制度改革を受け、平成20年度より各医療保険者は特定健康診査や特定保健指導を実施し、加入者の健康づくりに努めているところである。
- しかしながら、地域の保険者である国民健康保険、職域の保険者である全国健康保険協会（他、健康保険組合、共済組合）は、それぞれが持つ情報のみで課題を抽出し、健康づくり事業を行っているのが現状で、それらの情報や事業は保険者間で共有されていないため、**ノウハウ・成功事例の共有による事業の効率化が進んでいない。**
- また、特定健康診査や特定保健指導の受診勧奨についても各保険者が各々で行っているため、効率性を欠いたものとなっている。
- そこで、日南町民のうち約27%が加入する全国健康保険協会鳥取支部と約26%が加入する日南町国民健康保険が**連携・協力し、前述の課題を解決することで、日南町民の健康づくり事業を効果的・効率的に推進することが可能となり、加えて、この連携事業について鳥取県内他市町村にも情報提供を行い、連携を拡げることで、鳥取県全域に及ぶ健康づくり啓発の一助となる。**
- また、この連携事業により、日南町民、協会けんぽの加入者の健康増進・公衆衛生の向上だけでなく、現在課題となっている、年々増大している**医療費の抑制効果も期待できる。**

協定の内容

目的

日南町と協会けんぽ鳥取支部が相互に連携・協力を行い、日南町全体の健康増進の取組みを通じて、日南町の住民、協会けんぽの加入者の健康増進、公衆衛生の向上を図ることを目的とする。

連携・協力事項

目的を達成させるため、次の事項に関する連携・協力を行います。

1. 特定健康診査やがん検診の受診促進の取組みに関すること
2. 生活習慣病患者（予備群含）などの早期治療の勧奨に関すること
3. 医療費、特定健康診査などの結果分析を共有することによる日南町の健康課題の解明とその対策に関すること
4. その他、広報連携、各種施策連携等、協定の目的を達成するために必要な事項に関すること

連携事業の概要図



健康づくり 事業連携

日南町民の約53%を
カバーした事業展開が可能

日南町

調査分析

- ・ 健診データ
- ・ 医療費データ

健康課題抽出
効果検証

反映

- ・ 健診受診率向上の施策実施
- ・ 特定保健指導実施率向上の施策実施
- ・ 重症化予防対策の実施
- ・ 健康教育の実施

協会・町の施策を
一本化することで
漏れ・ダブりのない
効果的な健康づく
り事業を実施

協会・町のデータ共有
により地域の健康課題
が明確になる

日南町民 約5,310人

協会加入
事業所
約46

協会加入
被保険者
約920

協会加入
被扶養者
約510

日南町国保
被保険者
約1,390

目
標

健康増進・公衆衛生の向上、医療費の抑制

調査分析事業概要

健康づくりに関する事業連携

協会けんぽ

健診受診結果
健診受診状況
レセプト情報
医療費情報
事業所・加入者情報

国民健康保険

健診受診結果
健診受診状況
レセプト情報
医療費情報
加入者情報

同じ切り口で分析

共有

※個人情報保護に関する法を遵守

健康課題を抽出

協会けんぽ・国民健康保険

**鳥取県民の健康課題に合わせた
健康づくり事業を実施**

事業進捗状況
情報提供

アドバイス

- ・ 鳥取県健康政策課
- ・ 福祉保健事務所（福祉保健局）
- ・ 鳥取労働局
- ・ 鳥取県産業保健総合支援センター

分析結果への意見具申

分析結果提供
事業アドバイス

事業進捗状況
情報提供

分析レベル

I ⇒ 保険者単位
※現状

II ⇒ 保険者統合(概要)
※協会けんぽ、鳥取県国民健康
保険団体連合会の連携による

III ⇒ 19市町村別(詳細)
※協会けんぽとの連携による

IV ⇒ 施策の効果検証
仮説～対策～効果検証

鳥取大学医学部

● 分析・アドバイス
・がん検診・特定健診受診啓発に使えるデータを抽出・解析
・健診受診、企業の規模、企業の実施する健診状況とがん医療費との関連を解明する。

● 取組評価
・協会けんぽが提供するデータを検証

日南町長コメント

この度、日南町は、町民の約3割の働き盛りの年代が加入する全国健康保険協会(協会けんぽ)鳥取支部と「健康づくりに関する包括連携協定」を締結しました。

本町は、高齢化率46.6%(平成26年12月31日現在、住民基本台帳より)と県下で最も高く、全国に先駆けること約30年の早さで高齢化が進んでいます。このような中、誰もがいつまでも住み慣れた地域で健康でいきいきと暮らせるよう、介護予防や医療・福祉の推進を図っています。年を重ねても元気に過ごすため、働き盛りの若い年代からの健康づくりがより一層重要となっています。

本町では、75歳未満のがんによる死亡が多い状況にあり、特に男性のがんによる死亡が多くなっています。また、高血圧で治療中の方も多く、医療費においても循環器系疾患が占める割合が大きい状況です。

この連携により、日南町国民健康保険・後期高齢者医療、協会けんぽを合わせた町民の約8割のデータの分析から、より地域の健康課題を明確化させ、課題解決に向けた事業の展開、そして将来的には医療費の削減という効果が期待できます。協会けんぽとの協同の取り組みにより職域へのアプローチがしやすくなり、働き盛りの年代への健康づくりを効果的に行うことで、元気な高齢期を迎えることにつながります。

協会けんぽ鳥取支部と手を取り合って健康づくりを推進し、町民の皆様がにこにこ健康で暮らせる町づくりをすすめていきたいと考えています。



日南町長
増原 聡



協会けんぽ鳥取支部長コメント

協会けんぽ鳥取支部では、県下の中小企業にお勤め被保険者とその被扶養者の皆様(加入者)が加入される職域で最大の医療保険者として、職域ベースで加入者の皆様の各種健(検)診や保健指導等をはじめとした健康づくり事業を担っております。

また、地域ベースでは、各市町村(国保)が、これらの各種健(検)診や保健指導等の健康づくりを担っておられますが、協会けんぽの加入者は各市町村にお住まいです。

鳥取支部では、このように協会けんぽ、各市町村国保等での個別での健康づくり事業から、市町村民の皆様の健康増進を図るために、一步、二歩と前進し、保険者の枠を超えた職域と地域が協働した健康づくり対策に取り組むためには、各市町村との協力・連携が不可欠として、平成26年度の春より各市町村との連携の働きかけを推進しております。

この度の日南町との協定は、10番目となります。この協定による協力・連携関係をもとに、次の事業を柱として取り組むことを考えております。

1. 特定健診及びがん検診受診率向上への取組むこと。

健康づくりへの第一歩は、まず健(検)診を受診し、健康状態を確認することですが、健(検)診受診率が双方の大きな課題です。協会けんぽのご家族の方には、町内の健(検)診会場で特定健診とがん検診をセットで受けていただくよう、併せて、共同広報や健康づくりイベントなど各種向上策に町当局のご協力のもと取り組みます。

2. 日南町民の健康状態を把握し、対策を打つこと。

協会けんぽと日南町国保・後期高齢者を含め約4,500人、町民の約85%の医療費や健診結果データの分析が可能となります。様々な分析のなかで、町民のより正確な健康課題を把握し、町当局のご協力のもと、対策を実施していきます。

3. 健康づくりへの有効情報の共有化を進めること。

健康づくり事業を進めるためには、有効情報を関係者間で共有し、事業に活かすことが欠かせません。本協定がその契機となって、県下全域へ広がるよう取り組みます。



支部長 石本 健一



参考資料

日南町・協会けんぽ 医療費・健診結果等基礎分析

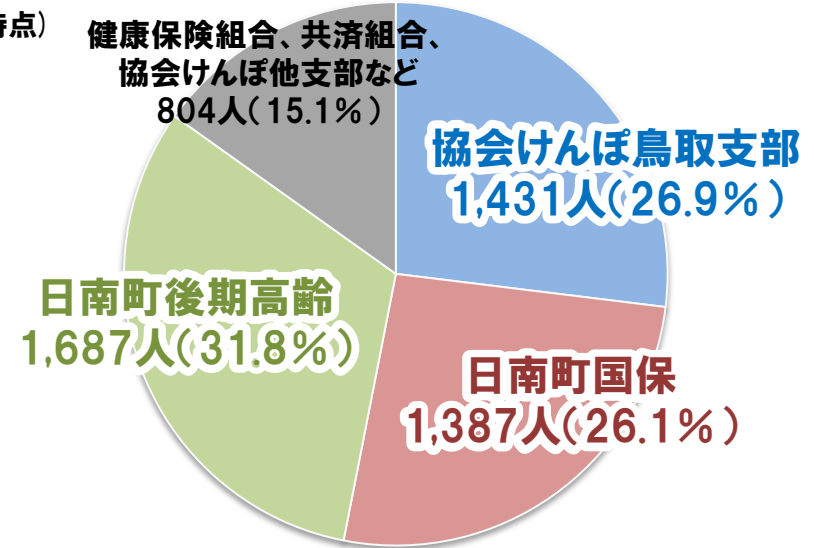
日南町と協会けんぽの現状

- 後期高齢の構成が31.8%と最も高い。後期高齢を含んだ分析・対策が必要。
- 国保では19市町村中、平成25年度：特定健診12位・がん検診17位
協会では19市町村中、平成25年度：生活習慣病予防健診2位・特定健診3位
⇒国保と協会の受診動向に格差があり総合的な対策が必要
⇒国保の低い理由は、医療機関への受診率が影響しているのではないか？
- 1人当り総医療費協定締結市町村中1位、入院医療費1位、入院外医療費9位
協会：1人当り総医療費3位、入院医療費1位、入院外医療費11位
国保：1人当り総医療費1位、入院医療費1位、入院外医療費10位
⇒総医療費が1位の理由は入院医療費。60%以上は他には見られない傾向。内容の把握が必要。
- 入院では「神経系の疾患」が10.4%と協定締結市町村中では高い部類に属する。
「筋骨格系及び結合組織の疾患」、「妊娠、分娩及び産じょく」が高い事も検証必要。
- 入院外では「新生物」が7.1%と協定締結市町村中では最も低い。「筋骨格系及び結合組織の疾患」、「眼及び付属器の疾患損傷」、「中毒及びその他の外因の影響」が協定締結市町村中では高い。
- 健診リスク率では「血圧リスク率」、「メタボ予備群該当率」、「BMI25以上」が高い傾向にある。
食事等の生活習慣が影響しているのか検討が必要。

人口と加入者

協会けんぽ鳥取支部
加入者200,078人 (H26.3.31時点)

日南町人口の公的医療保険加入者内訳



年齢区分	協会けんぽ※1		日南町国保※2		日南町後期高齢※2		合計		日南町民全体※2	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
10歳未満	61	75	14	19			75	94	110	123
10歳代	80	88	32	45			112	133	158	179
20歳代	116	82	30	28			146	110	205	163
30歳代	104	85	42	26			146	111	205	140
40歳代	103	88	57	38			160	126	202	189
50歳代	167	157	114	64			281	221	388	308
60歳代	106	88	276	267	2	0	384	355	442	405
70-74歳	11	21	141	193	8	5	160	219	166	237
75-79歳			0	1	195	317	195	318	196	320
80歳代					339	604	339	604	342	609
90歳代					58	153	58	153	58	157
100歳以上					0	6	0	6	0	6
合計	748	683	706	681	602	1,085	2,056	2,449	2,472	2,836
男女計総数	1,431		1,387		1,687		4,505		5,308	
町民に占める割合	26.9%		26.1%		31.8%		84.9%			

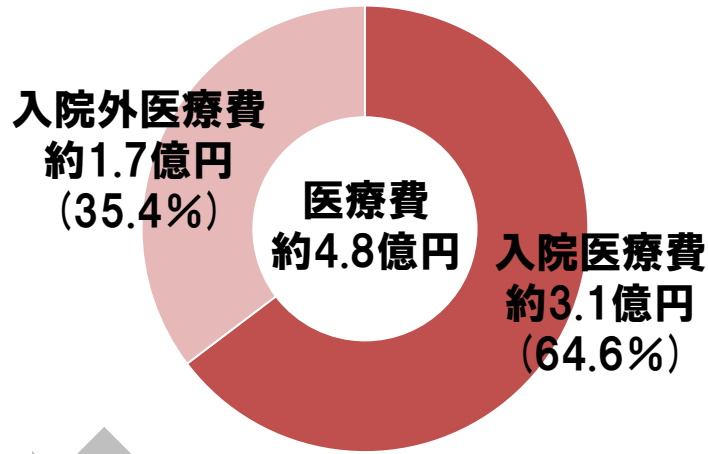
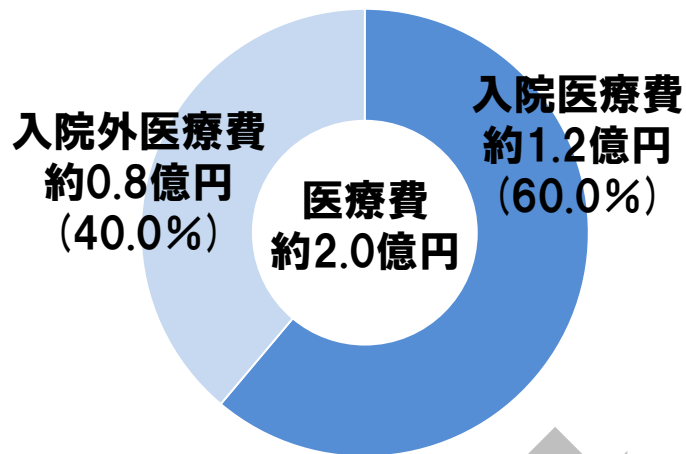
※1：平成25年度平均の値。被保険者の住所地を基準としているため被扶養者分については町外居住の場合がある。また端数処理の関係で合計が合わない場合がある。

※2：平成26年3月31日現在の値。

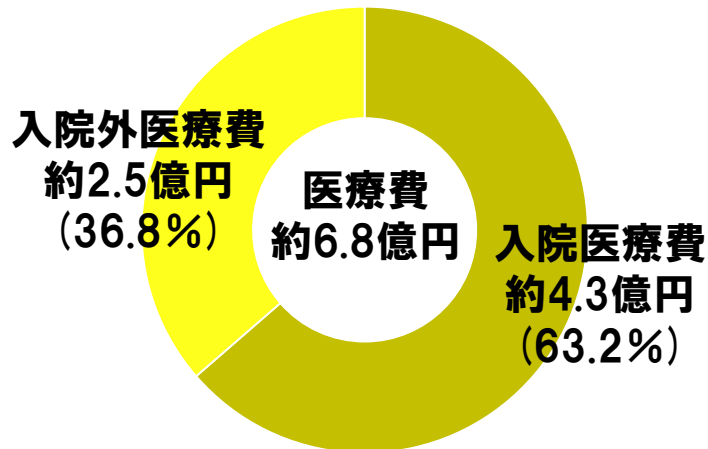
入院医療費と入院外医療費の概要(平成25年度分)

協会けんぽ鳥取支部加入者のうち
日南町在住加入者分

日南町国保分



合計



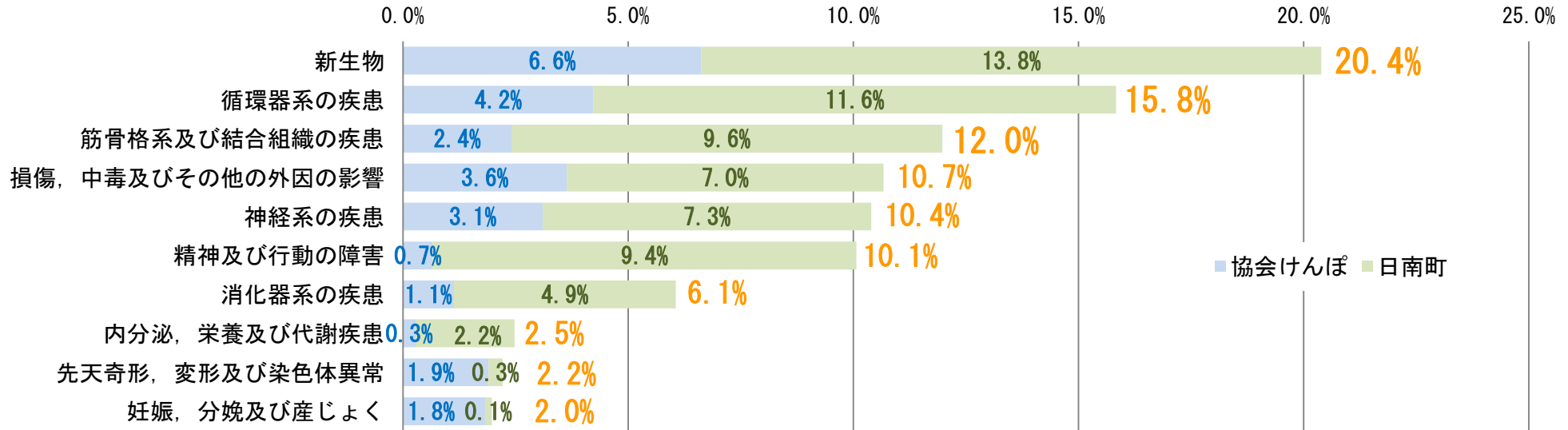
※協会けんぽ分は日南町在住と判明している被保険者とその被扶養者の医療費

※日南町国保分には歯科分含む

※調剤費は含まない

疾病別入院医療費の概要(平成25年度分)

日南町と協会けんぽの合算入院医療費に占める疾病別医療費の割合(上位10疾病)

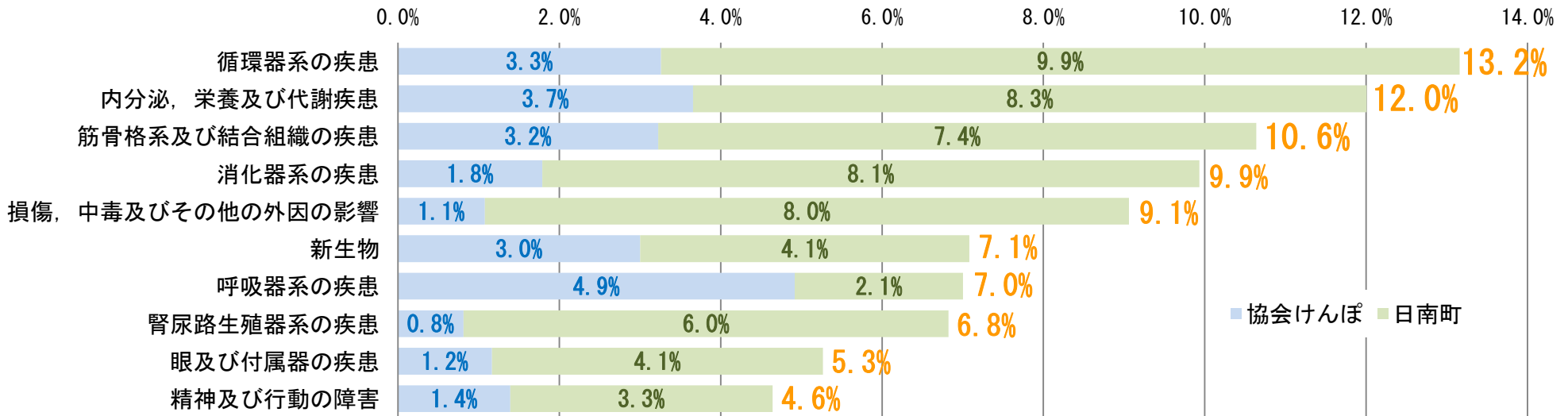


疾病名	日南町+協会けんぽ		日南町			協会けんぽ		
	医療費(円)	構成割合	医療費(円)	構成割合	順位	医療費(円)	構成割合	順位
新生物	88,372,140	20.4%	59,668,240	13.8%	1	28,703,900	6.6%	7
循環器系の疾患	68,610,490	15.8%	50,296,460	11.6%	2	18,314,030	4.2%	9
筋骨格系及び結合組織の疾患	51,898,650	12.0%	41,468,250	9.6%	3	10,430,400	2.4%	12
損傷, 中毒及びその他の外因の影響	46,238,430	10.7%	30,494,580	7.0%	6	15,743,850	3.6%	10
神経系の疾患	45,049,780	10.4%	31,619,010	7.3%	5	13,430,770	3.1%	11
精神及び行動の障害	43,616,010	10.1%	40,761,250	9.4%	4	2,854,760	0.7%	17
消化器系の疾患	26,242,300	6.1%	21,343,750	4.9%	8	4,898,550	1.1%	16
内分泌, 栄養及び代謝疾患	10,733,470	2.5%	9,538,840	2.2%	13	1,194,630	0.3%	19
先天奇形, 変形及び染色体異常	9,579,390	2.2%	1,362,070	0.3%	18	8,217,320	1.9%	14
妊娠, 分娩及び産じょく	8,541,540	2.0%	648,380	0.1%	20	7,893,160	1.8%	15
その他(上記以外、傷病不明含む)	34,429,940	-	21,610,220	-	-	12,819,720	-	-
合計	433,312,140	100.0%	308,811,050	71.3%		124,501,090	28.7%	

※構成割合は日南町+協会けんぽの合計医療費に対する割合
 ※順位は医療費の高い順

疾病別入院外医療費の概要(平成25年度)

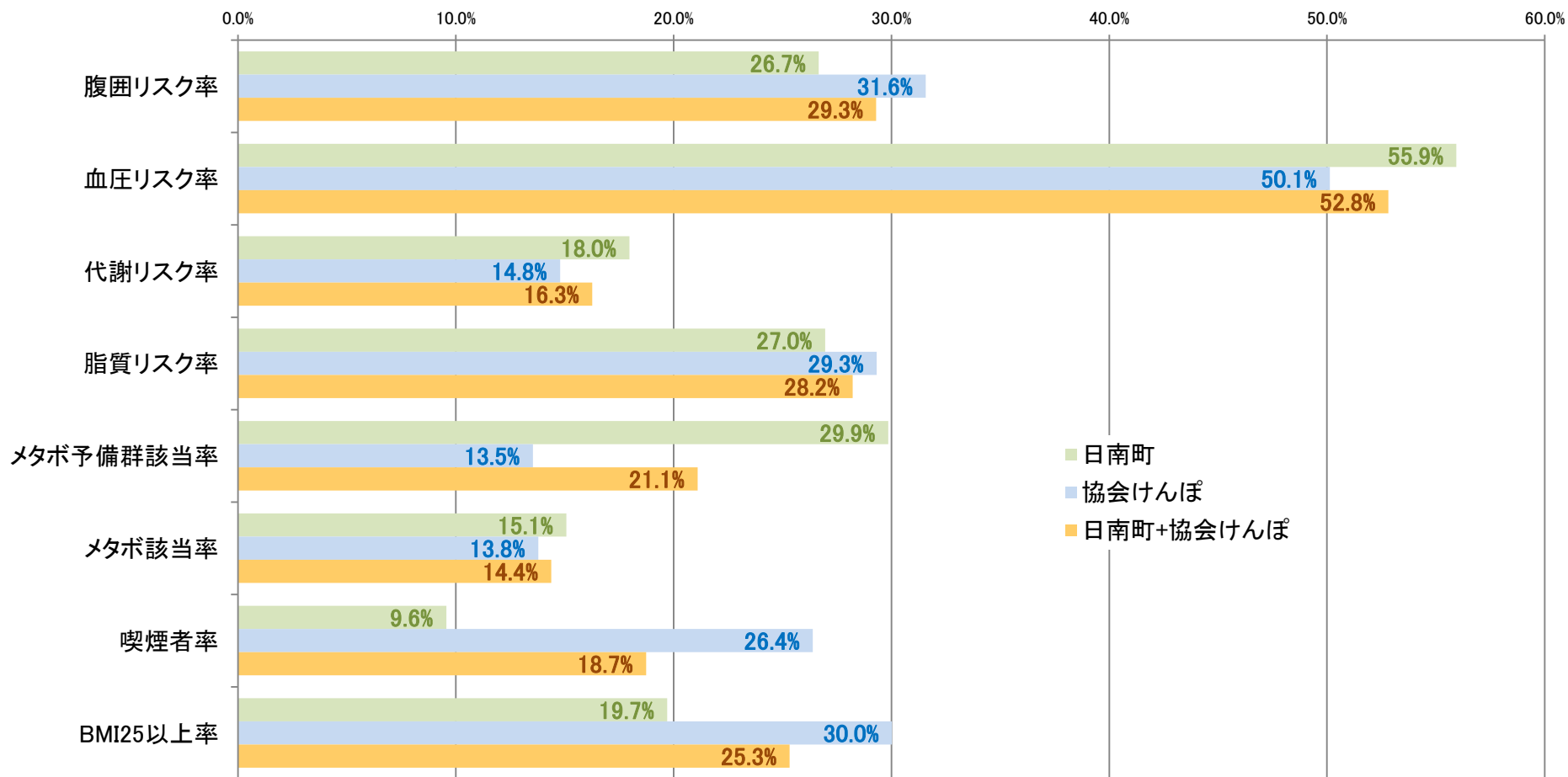
日南町と協会けんぽの合算入院外医療費に占める疾病別医療費の割合(上位10疾病)



疾病名	日南町+協会けんぽ		日南町			協会けんぽ		
	医療費(円)	構成割合	医療費(円)	構成割合	順位	医療費(円)	構成割合	順位
循環器系の疾患	32,612,330	13.2%	24,530,080	9.9%	1	8,082,250	3.3%	11
内分泌、栄養及び代謝疾患	29,758,210	12.0%	20,691,030	8.3%	2	9,067,180	3.7%	10
筋骨格系及び結合組織の疾患	26,367,550	10.6%	18,370,390	7.4%	5	7,997,160	3.2%	13
消化器系の疾患	24,618,100	9.9%	20,183,880	8.1%	3	4,434,220	1.8%	16
損傷、中毒及びその他の外因の影響	22,458,960	9.1%	19,791,200	8.0%	4	2,667,760	1.1%	19
新生物	17,556,310	7.1%	10,115,030	4.1%	9	7,441,280	3.0%	14
呼吸器系の疾患	17,362,070	7.0%	5,169,110	2.1%	15	12,192,960	4.9%	7
腎尿路生殖器系の疾患	16,915,050	6.8%	14,899,730	6.0%	6	2,015,320	0.8%	20
眼及び付属器の疾患	13,056,540	5.3%	10,170,610	4.1%	8	2,885,930	1.2%	18
精神及び行動の障害	11,509,090	4.6%	8,058,080	3.3%	12	3,451,010	1.4%	17
その他(上記以外、傷病不明含む)	35,649,640	-	16,696,680	-	-	18,952,960	-	-
合計	247,863,850	100.0%	168,675,820	68.1%		79,188,030	31.9%	

※構成割合は日南町+協会けんぽの合計医療費に対する割合
 ※順位は医療費の高い順
 ※調剤費は含まない

メタボリスク保有率の状況（平成24年度）



■ 日南町
■ 協会けんぽ
■ 日南町+協会けんぽ

※日南町分は日南町実施の特定健診受診者分
 ※協会けんぽ分は協会けんぽ実施の生活習慣病予防健診及び被扶養者特定健診の受診者と事業者健診データ取得分
 ※喫煙者は健診時の問診結果による
 ※BMI=体重(kg)÷〔身長(m)×身長(m)〕

メタボリスク基準

- **腹囲リスク**
 - ・内臓脂肪面積が100cm²以上
 - ・内臓脂肪面積の検査値がない場合は、腹囲が男性で85cm以上、女性で90cm以上
- **血圧リスク**
 - ・収縮期血圧130mmHg以上、または拡張期血圧85mmHg以上、または高血圧に対する薬剤治療あり
- **代謝リスク**
 - ・空腹時血糖110mg/d以上、または糖尿病に対する薬剤治療あり
 - ・空腹時血糖の検査値がない場合は、HbA1c5.5%以上、または糖尿病に対する薬剤治療あり
- **脂質リスク**
 - ・中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロール40mg/dl未満、または脂質異常症に対する薬剤治療あり
- **メタボ予備群**
 - ・腹囲リスクかつ血圧リスク・代謝リスク・脂質リスクのうち1項目に該当
- **メタボ該当**
 - ・腹囲リスクかつ血圧リスク・代謝リスク・脂質リスクのうち2項目に該当